

歌壇

櫻井 登世子 選

特選

道の辺の桜紅葉を拾い来て挟む日記も残りひと月

千石 小出 風沙子

疎開せし村の学校は廃校に若者住まずと嘆く老人

大塚 加藤 喜雄

塩漬にせむと求めし油菜の咲き初めし黄を一本残す

千駄木 上杉 紀世子

入選

わが母が「大家のおばさん」で載っているアパートの少女は作家になって

向丘 高野 伸子

火の用心拍子木の音に火を崇め神と祭りし古思ふ

千石 菊地 正矩

絶え間なく露天の風呂に流れ落つ湯音に遠く除夜の鐘聞く

千駄木 伊藤 惠津子

他人ごとと思ひし白寿の近づきぬ体調崩るなその日のために

西片 松林 利枝

虹色の旗を纏へる伝通院年も新たに祈りを込めむ

水道 菅井 茂子

待ちわびて夕日背に負いし富士を見る人人人のラウンジの窓辺に

本駒込 鈴木 たまき

もうながくつかっていない言葉あり せめて あるいは そうじゃあなくて

本駒込 大澤 貞子

俳壇

松澤 雅世 選

特選

冬紅葉散るといふこと忘れをり

千駄木 山田 経子

目刺買ひ焦がさないでと言はれけり

春日 石山 博恵

生きたくも死にたくもあり年の夜

西片 中島 多津子

入選

冬虹や色鉛筆も間に合わず

向丘 丸岡 正児

茶柱の一本ありて除夜の鐘

関口 大久保 博

寒稽古一群去りて若松白う

関口 島 澄枝

煤逃げて英語で道を聞かれけり

小日向 林 たかし

夜回りや多少は温き街路灯

春日 岡田 政己

澄まし顔笑顔変顔初写真

千石 菊地 正矩

雪化粧正に極まる金閣寺

小石川 井上 静雄